

生体抗酸化力測定装置

企業 / 東北電子産業(株)

研究者 / 後藤由夫 (東北厚生年金病院名誉院長)

生体の抗酸化力を調べる方法として、血中や組織の各種抗酸化物質の量を直接測る方法があるが、この方法では1個体全体としての抗酸化力を知ることは難しい。そこで血漿に過酸化物を外から加え、その分解率を調べることで、1個体全体の抗酸化力を知るというコンセプトで、血中過酸化脂質分析で得たデータに基づき、化学発光検出 - 高速液体クロマトグラフ法の開発で得た分析技術を用い、生体抗酸化力測定装置を完成した。

条件設定を検討の結果、再現性良くデータが得られるようになった。人ごとに過酸化物を破壊する能力が異なることが明らかになった。